

第 13 期 共同研究プロジェクト紹介

関

関東学生マーケティング大会

マ

ケ

製品推奨を伴うカスタマイズ方式の有効性

「商品を自分の理想の形に変えたい。」——この願いを叶えてくれるのが、カスタマイゼーションである。近年の研究は、完成品を起点にカスタマイズすることで、消費者により高い満足を与えられると主張している。しかし、この方法には問題がある。本論は、その問題を指摘した上で、それを解決しうるような新たなカスタマイズ方式を提唱する。



抜け感のあるしっかり者
矢野 瑞喜



驚異の遅刻率 0%
福嶋 啓悟



日論のイチロー
井上 雄哉



救世主
木田 有亮



困ったら俺がやる！
長妻 泰成



日論のアイドル
平久 千紘

13期関マケは、英語で論文を書きたくないという消極的な理由で結成したメンバーの集まりでした。しかし、世界最先端のテーマを見つけて論文を書くためには、英語論文を読む必要があり、春学期の間、ずっと英語と苦闘しました。無事テーマが決まった後も、夏休みを仮説構築に捧げ、秋学期は、実験に必要な7,560枚もの画像をスクリーンショットし、執筆に励みました。こうして時間を忘れて完成させた私たちの論文は、関東学生マーケティング大会で優秀賞を頂くことができました。初めは、論文テーマも自分たちでまともに決められなかった私たちですが、助けてくれた同期の13期生、先輩の12期生や大学院生、そしてなにより小野先生の御助力も含め、支えてくださったすべての方々のおかげで、こうして納得のいく論文を書き上げ、賞を受賞することができたと思っております。私たちにお力添えをくださった皆様、誠にありがとうございました。